

週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2011.06.27~07.01

記事の詳細は、情報検索サービス

『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

6月27日(月)

車部品向け専用機・治具工場
三技/日系部品から受注狙う

三技は、年末をめどに蘇州市に自動車部品生産向け専用機と治具の生産で進出する。日本が縮小傾向の中、中国で事業を拡大する日系自動車部品メーカーなどから受注を狙う。(7面)

中国首位、日本は2位

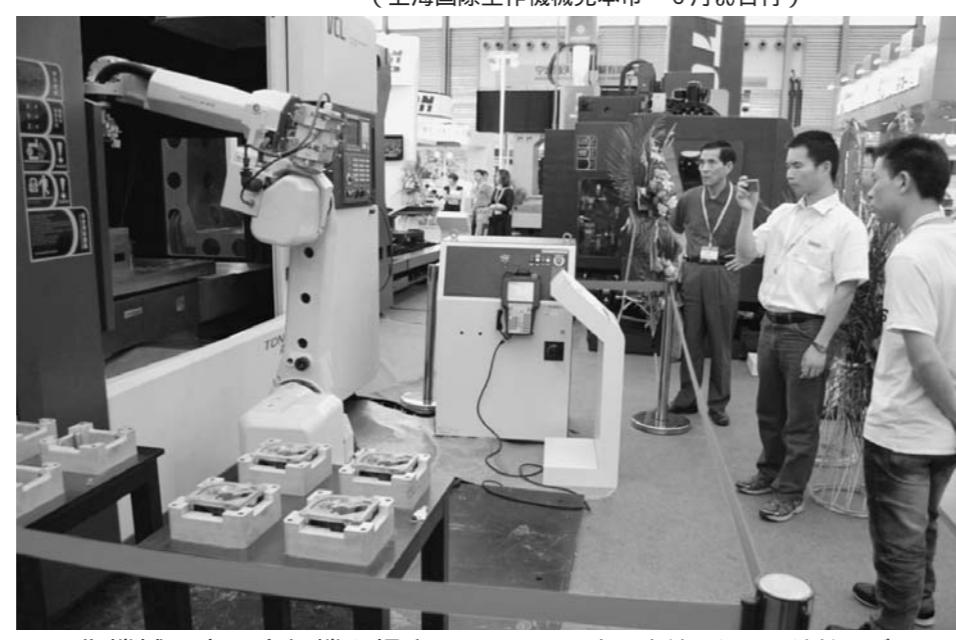
アジアで最も重要なパートナー

アジアで最も重要なパートナーは中国で、日本は2番手とみなされていることが、外務省の対日世論調査で分かった。米国とメキシコ、オーストリア、南アフリカの4カ国に実施。(18面)

4万社が赤字

中国の組み立て型企業が苦戦
中国の組み立て型企業が赤字に苦しんでいます。中国国家統計局などによると、2011年1~2月期の赤字企業は前年同期比1.8%増の4万8522社となり、1年3カ月ぶりに増加に転じた。(18面)

6月28日(火)

村田製作所、重慶に事務所
メーカー・EMS、内陸部移動に対応
村田製作所は、重慶市に駐在員事務所を開設した。セットメーカーとEMSの工場が沿岸部から内陸部に移っていることに伴い、販売・サービス体制を強化する。夏には西安市にも。(3面)工作機械・中・高級機を提案
上海工作機械見本市

日本の工作機械・工具メーカーが、上海工作機械見本市(28日開幕)で自動車など地場製造業向けに低価格機・普及機などを出展する。中国企業は中・高級機を提案する動き。

イヅミ工業、中国に照準
摩擦圧接機・ブローチ盤3機種

イヅミ工業は、2012年春までに摩擦圧接機とブローチ盤で、中国市場に照準を合わせた新製品3機種を投入する。年末までに現地拠点も設立し、販売・サービス体制を強化する。(6面)

中国の溶接機工場1.4倍
バナソニック溶接システム/年14万台

バナソニック溶接システムは、中国の溶接機工場で、2012年までに生産能力を現在の1.4倍の年産14万台体制を整え

る。国内の本社工場では溶接ロボットの生産を拡大する。(6面)

NEC、中国合弁が本稼働

クラウド/日・中・英語でサポート

NECは、NEC中国と中国・東軟集団グループの瀋陽東軟信息技术が設立した大連の合弁会社が本稼働に入った。総合的なクラウドサービスを提供。日・中・英語でサポート。(9面)

天津にファンド管理会社

日本アジア投資/中国政府系と設立

日本アジア投資(JAIC)は、中国の政府系投資ファンドと共同で、天津濱海新区にある天津エコシティ内に、環境関連企業などに投資する人民元建てファンドの管理会社を設立した。(21面)

上海に現法、年内設置

芙蓉総合リース

芙蓉総合リースは、中国現地法人「芙

蓉綜合融資租賃」を年内に設立する。日系企業の進出が相次ぎ、営業体制を整える。旺盛な海外需要を取り込むことで経営基盤強化につなげる。(21面)

家統計局が実施した第6次国勢調査で、富士通グループの業務用スキャナー1700台と、光学式文字読み取り装置(OCA)ソフトが採用された。(9面)

6月29日(水)

アルミホイール生産能力を倍増
旭テック/年300万本

旭テックは、中国でアルミホイールの生産能力を2013年に2倍の年300万本に引き上げる。広州市に新工場を建設。現地製造のコスト競争力で、日系の国内・中国工場での採用拡大。(5面)

計測機器、中国語で表示

コニカミノルタセンシング

コニカミノルタセンシングは、中国における計測機器事業を拡大する。中国向けに表示を中国語にした分光測色計を8月中に投入。また、上海、北京、青島など中国拠点で販売体制を強化。(9面)

LED関連、アジア・北米強化
ゴム製キャップ/上海を格上げ

朝日ラバーは、LED用のシリコーンゴム製カバーキャップなど照明白光事業でアジア・北米の営業体制を強化する。年内にも上海駐在事務所を営業所に格上げ。北米販売子会社を増員。(13面)

6月30日(木)

工作機械をシステム提案

上海工作機械見本市

上海国際工作機械見本市で、中国の工作機械メーカーが工作機械とロボットを組み合わせて加工を実演。人件費が高騰、自動化ニーズが高まる。製品単体ではなくシステム提案が広がる。(6面)

13億人を電子化

国勢調査に読み取り機/富士通

13億人を電子化。富士通は、中国国

高付加価値機種で存在感

上海工作機械見本市/現地企業

上海国際工作機械見本市で存在感を發揮しているのは、中国の工作機械メーカー。NCCなどを搭載した高付加価値機種を披露、増産体制も急ピッチ。質と量の両面で提案力を強めている。(6面)

華東理工大学と共同学位

大阪府立大/学士課程の卒業資格

大阪府立大学と中国の華東理工大学が共同学位の協定。華東理工大学で2年6力

月間、さらに大阪府立大で2年間の履修後、それぞれの卒業要件を満たせば、両大学の学士課程の卒業資格。(23面)

ひと

大田区の中小でも生き残れない
南武が中国生産拠点「南武油缸(常州)」を本格稼働。「子抜き油圧シリンダーの売れ行きは自動車市場の動向に直接左右される。国内の売上高はリーマン・ショック前の8割の水準のまま、外需を取り込まない限り、大田区の中小企業といえども生きていけない時代になつた」。(27日=28面)生産が追いつかない
上海国際工作機械見本市に出展中の大連機械集団總經理の高偉さんは「出展した全製品が成約した。閉幕後に急いで出荷しないといけない。2012年に生産能力を10万台に増強し、需要に対応する」と鼻息が荒い。自動車のエンジン加工や鉄鋼関係、電機関係などの需要に「生産が追いつかない状態」だ。(30日=6面)

安定した成長と幸せな社会

中国共産党が1日、創設90周年に合わせて1日に中国共産党創立90周年を迎えるのに合わせ、中国各地で30日、高速鉄道(中国版新幹線=北京~上海)やパイプライン、海上橋など巨大プロジェクトが相次いで完成した。(時事=2面)

ひと

インドにいるように
スリランカ投資局のシーウン・デ・シリバさんは「インドとパキスタンと自由貿易協定(FTA)を締結しているのはスリランカだけだ。日本からインドに輸出する際、自動車部品、薬品には10%の関税。スリランカからは無税。インドにいるように、スリランカで生産し、インドに輸出できる」。(27日=18面)

タイでも少子化

「タイでは、労働者不足で労働力の確保が大変」と頭を悩ませるのは、自動車向け樹脂部品を製造する大和ケミカル社長の中村幹夫さん。「少子化に加えて日系企業が進出しきすぎた」と人手不足を分析。海外進出の相談を受けることも少なくない。「私の聞くよます現地に行つてきて」とアドバイス。(27日=27面)

インドは5年前の日本、
「インドも少しずつ通信環境が変化している」と語るのはNTTドコモ副社長の鈴木正俊さん。2009年にインドのタタ・グループの通信会社に出資した。「半年前ようやく3G方式が登場。これからメールが広がる」ところ。「日本の5~6年前の状況に近い」。高い成長性に期待し、飛躍を誓う。(29日=11面)

日本人の採用やめた

「採用で日本人をとるのをやめた」と話すのはアビタス社長の三輪豊明さん。米国公認会計士など、国際資格の専門校を運営。上海に学校を開設するなど、海外進出を加速。中国語、英語の教材開発も進め、インドへ進出も計画。「受講生の質問も日本語に加え、英語や中国語も対応しなければ」。(30日=19面)

ASIA

6月27日(月)

特殊環境用軸受で攻勢
日本精工/アジア市場開拓
日本精工は、真空状態や200℃以上の高温に適合した特殊環境向け軸受で、アジアに攻勢をかける。2013年までに順次、韓国、台湾、中国に技術要員を常駐させてサポート体制を整える。(8面)陶器瓦、アジア開拓
マルスギ/富裕層に狙う

マルスギは、2013年3月期に陶器瓦の海外販売を3倍の1500万枚に引き上げる。これまで台湾向けが大半だったが、富裕層が増加する中国市場を開拓。ASEANでも販売を始める。(14面)

日本の「部品素材」を誘致
韓国・浦項市/専門チーム新設

韓国・浦項市は「日本企業誘致チーム」を今月新設し、部品素材関連企業などの誘致活動の強化に乗り出した。日本では9月から10月にかけて、浦項市では8月末に説明会を開く。(18面)

6月28日(火)

印で「エティオスリーパ」発売
トヨタ/売れ筋価格帯
トヨタ自動車は、インドでハッチバッククライアントの低価格小型車「エティオスリーパ」を発売した。39万9000ルピー(約73万8000円)から、インドで売れ筋の30万5000ルピーの価格帯に設定。(5面)川重、ガスタービン発電納入
シンガポール社向け

川崎重工業は、シンガポールのユーロアジアティック・マシナリー向けに出力6320kWのガスタービン発電設備を納入した。不二製油系の工場にコジェネ用として設置される。(6面)

ラオス現法の生薬栽培が認定
ツムラ/官民パートナーシップ

ツムラは、ラオス現地法人が手がける生薬栽培事業が日本政府が促進する「成長加速化のための官民パートナーシップ」の官民連携案件として制度開始以来、初めて認められた。(16面)

アジア産の豆ブレンド

J.T./缶コーヒー「ルーツ」

J.T.は、缶コーヒー「ルーツ エクスプローラー アロマオブエイジア」を7月4日に発売。アジア産のコーヒー豆をブレンドした微糖ミルクタイプで芳醇な香りとキレのある後味が特徴。(16面)

タイの銀行と業務提携

常陽銀行/進出を後押し

常陽銀行は、タイのカシコン銀行と海外進出支援で業務提携した。現地情報や各種金融サービスの提供を通じて、取引先企業のタイへの進出を後押し。茨城でのセミナーや商談会の開催も。(30面)

広島県、アジア人材を受け入れ
理工系留学生/県内企業への就職促進

広島県は、県内企業のグローバル展開を支援。大学や企業との連携組織を設置。アジアから優秀な理工系留学生を受け入れる。奨学金支給などで留学生の県内企業への就職に結びつける。(31面)

セラミック水処理膜、アジアに移管
明電舎/需要地2拠点に設備

明電舎は、2010年に開発したセラミック水処理膜を、13年度にアジア生産を柱にした事業計画を固めた。国内に生産設備を導入して量産、13年度に需要地のアジア2拠点に移管する。(13面)

7月1日(金)

インドで現地の幹部研修

パナソニック電工/タイなどにも

パナソニック電工はインド子会社であるアンカ・エレクトリカルズで幹部社員を対象にした人材育成を本格化する。タイやインドネシアの子会社にも同様の研修制度を導入する。(4面)

タイにC V T新工場

ジャトコ/年50万台

ジャトコは、タイで2013年秋をめどに無段変速機(CVT)の生産を始める。生産能力は年間約50万台、投資額は約200億円。海外生産拠点としてはメキシコ、中国に次いで3カ所目。(面)

廃棄物発電を事業化調査

日立造船・大阪市/インドネシア

日立造船などは、7月から大阪市環境局と協力し、インドネシアの東ジャワ州マラン市とその周辺地域で、統合型廃棄物発電システムの事業化調査に乗り出す。導入や運用コストを評価。(7面)

メタルワン、ベトナムに販社

ホーチミン・ハノイ・ブンタオ

メタルワンは、ベトナムに販売子会社を設立した。本社はホーチミン。ハノイに支社、日系鉄鋼メーカーの生産子会社が多いブンタオに事務所を置く。法人格で営業活動が可能に。(11面)

昼休み撤廃

シンガポール取引所/9時~17時

シンガポール取引所は、株式市場の昼休み取引休止を撤廃し、9時から17時まで休みなしで取引を続ける「終日連続取引」に8月1日から移行する。当初計画より5カ月遅れての実施。(17面)

低燃費タイヤ原料の設備新設
シンガポール/日本の石化

日本の石油化学メーカーが、シンガポールで自動車用低燃費タイヤの原料となるスチレンタブジエンゴムの製造設備建設に動きだした。旭化成ケミカルズはシンガポールで製造設備を起工。(11面)

起工式に臨む藤原健嗣旭化成社長(左)、シンガポール経済開発庁長官のレオ・イップ氏(右)

起工式に臨む藤原健嗣旭化成社長(左)、シンガポール経済開発庁長官のレオ・イップ氏(右)

起工式に臨む藤原健嗣旭化成社長(左)、シンガポール経済開発庁長官のレオ・イップ氏(右)

起工式に臨む藤原健嗣旭化成社長(左)、シンガポール経済開発庁長官のレオ・イップ氏(右)

起工式に臨む藤原健嗣旭化成社長(左)、シンガポール経済開発庁長官のレオ・イップ氏(右)

起工式に臨む藤原健嗣旭化成社長(左)、シンガポール経済開発庁長官のレオ・イップ氏(右)

起工式に臨む藤原健嗣旭化成社長(左)、シンガポール経済開発庁長官のレオ・イップ氏(右)